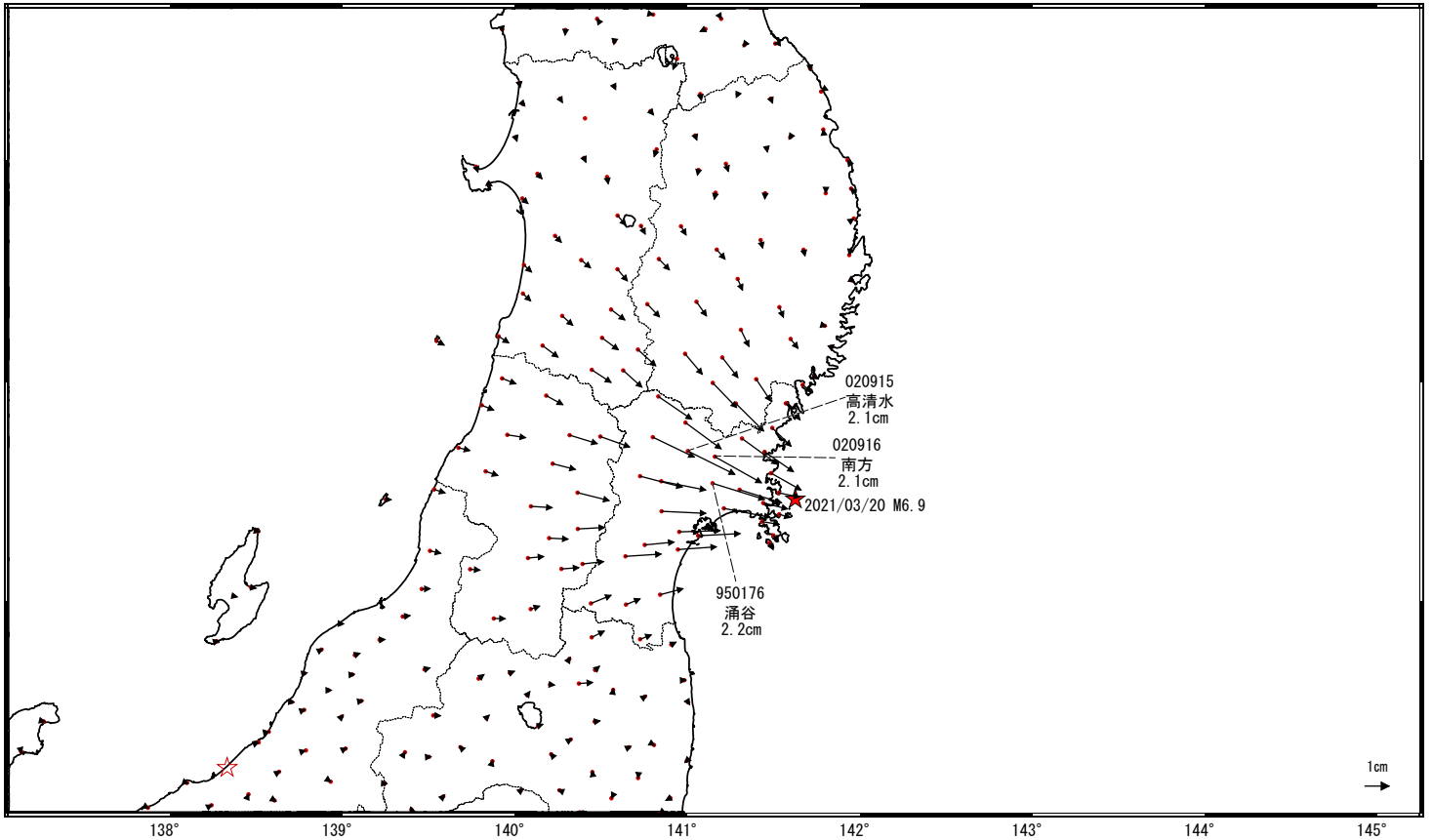


# 宮城県沖の地震(3月20日 M6.9)前後の観測データ

この地震に伴い地殻変動が観測された。

地殻変動(水平)

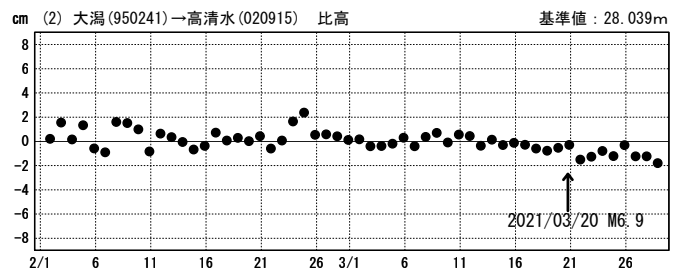
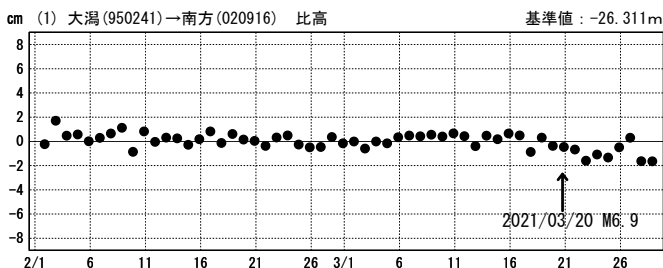
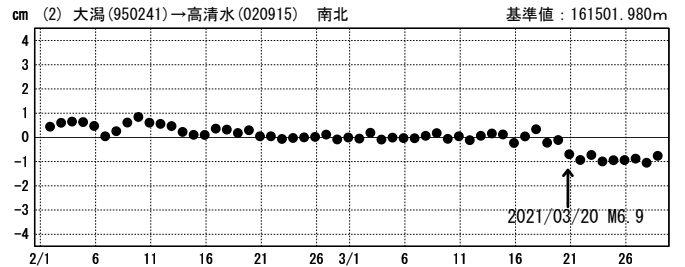
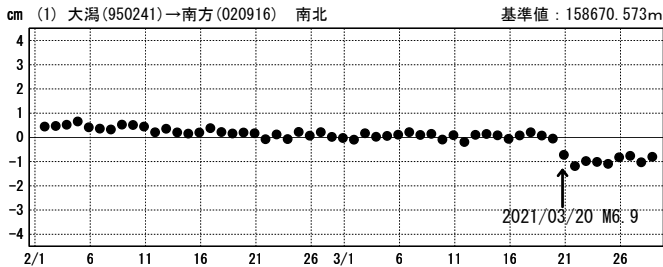
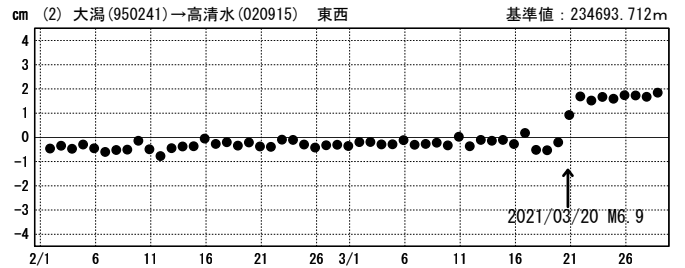
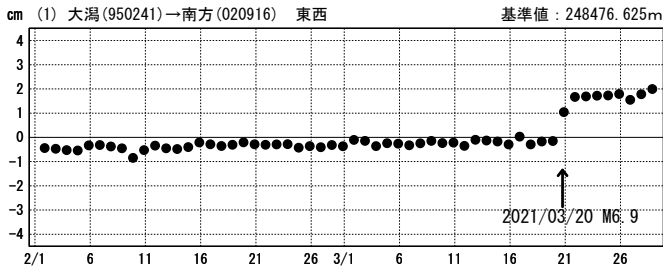
基準期間: 2021/03/13~2021/03/19 [F5: 最終解]  
比較期間: 2021/03/21~2021/03/27 [F5: 最終解]



☆ 固定局: 大湯 (950241)    ★ 震央

期間: 2021/02/01~2021/03/29 JST

期間: 2021/02/01~2021/03/29 JST



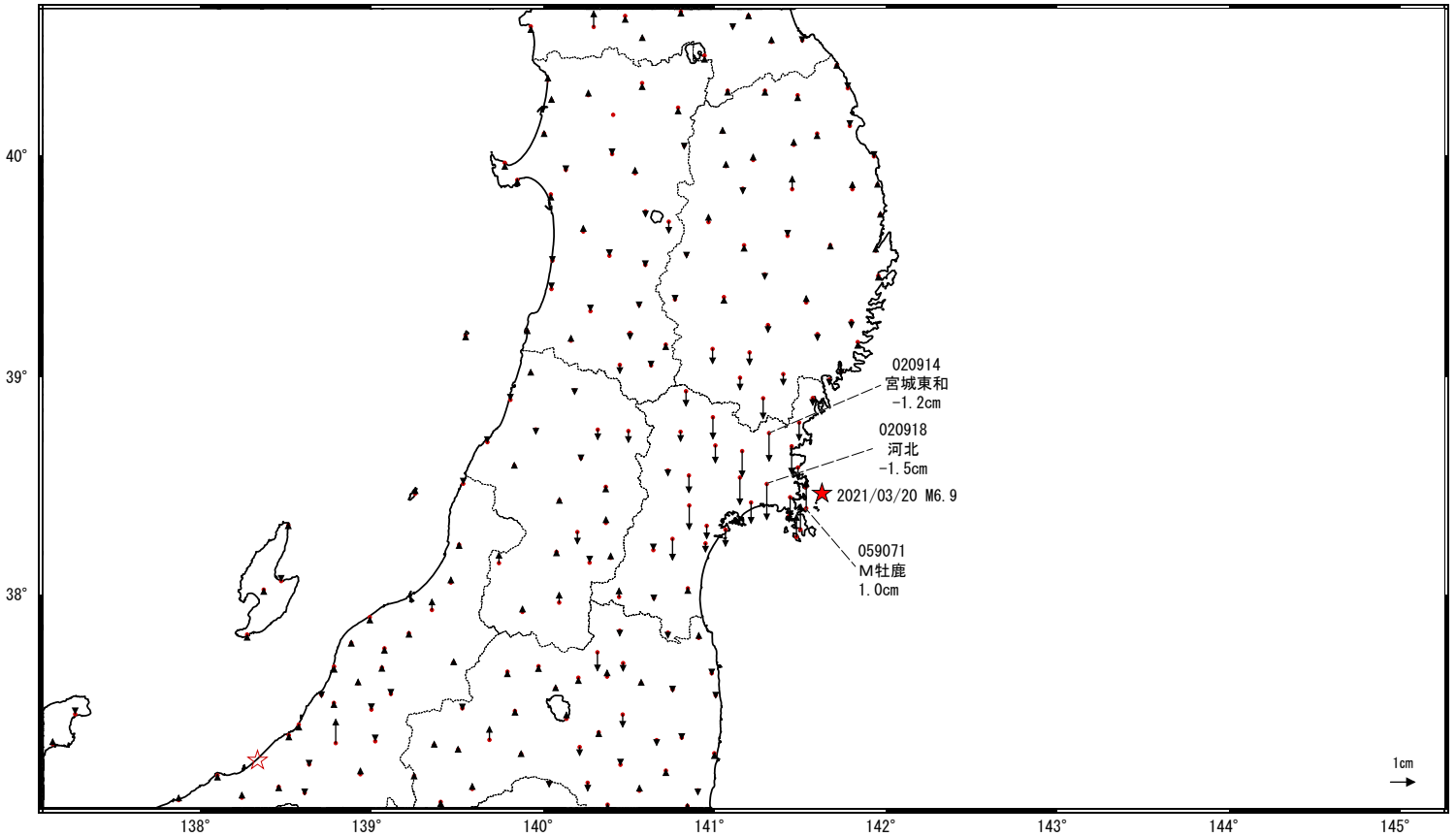
●—[F5:最終解]

# 宮城県沖の地震(3月20日 M6.9) 前後の観測データ

この地震に伴い、宮城県北部を中心とした小さな沈降と牡鹿半島で小さな隆起が観測された。

## 地殻変動(上下)

基準期間: 2021/03/13~2021/03/19 [F5:最終解]  
比較期間: 2021/03/21~2021/03/27 [F5:最終解]

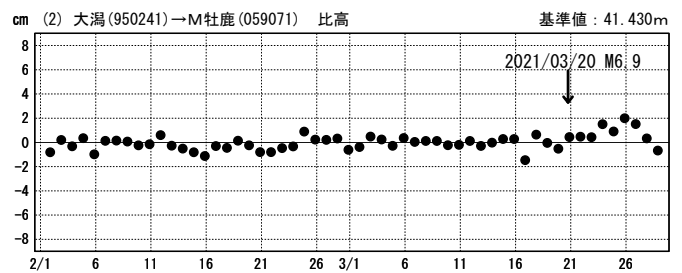
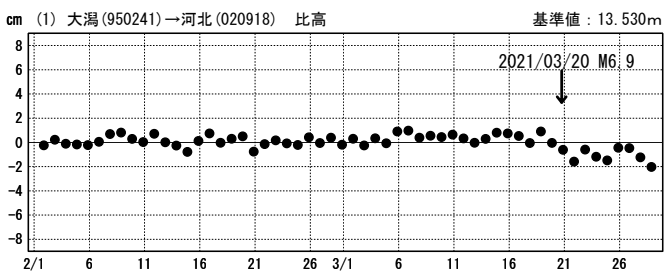
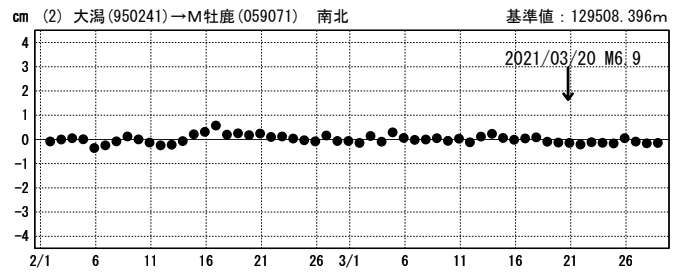
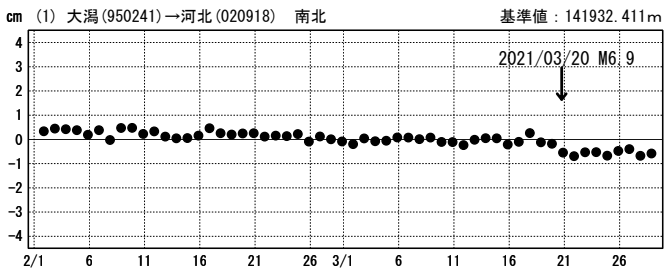
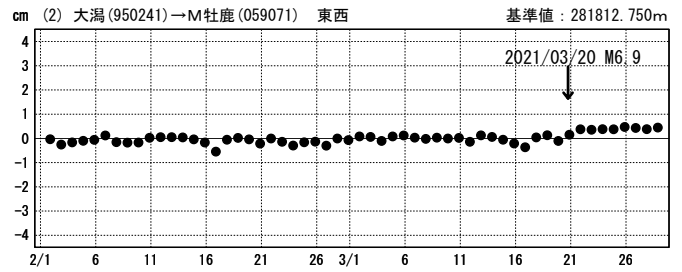
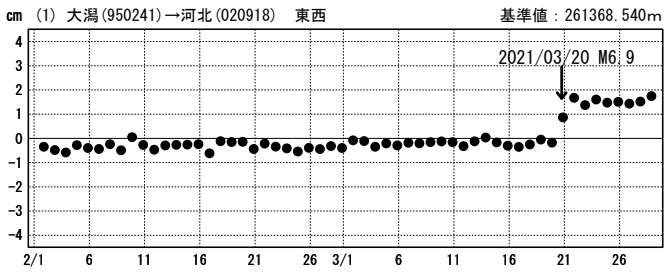


☆ 固定局:大潟(950241)    ★ 震央

## 成分変化グラフ

期間: 2021/02/01~2021/03/29 JST

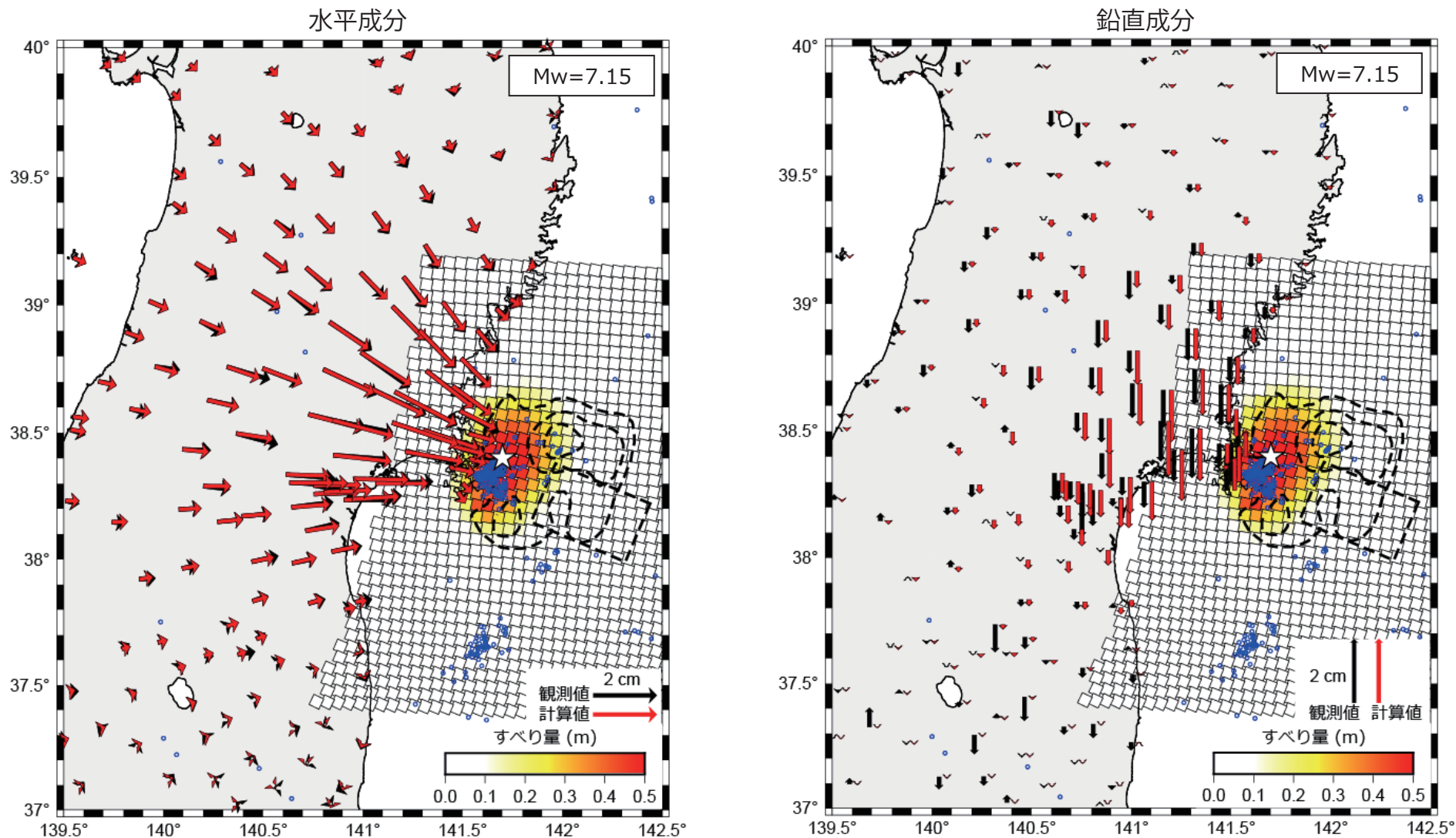
期間: 2021/02/01~2021/03/29 JST



●— [F5:最終解]

# 2021年3月20日宮城県沖の地震のすべり分布

基準期間:2021/03/06 09:00:00~2021/03/20 08:59:59[F5:最終解]JST  
 比較期間:2021/03/21 09:00:00~2021/03/28 08:59:59[F5:最終解]JST  
 固定局:大潟(950241)



等値線は1978年宮城県沖地震のすべり分布 (Yamanaka et al. 2004)。矩形破線は2005年8月16日宮城県沖の地震の震源断層モデル (国土地理院)。

- ・ プレート面を5kmx5kmの小断層に分割してすべり分布を推定
- ・ プレート面はKita et al. (2010, EPSL)およびNakajima and Hasegawa (2006, GRL)による
- ・ ラブラシアン平滑化を採用し、ハイパーパラメータはABICにより決定
- ・  $M_w$ の計算においては、剛性率を60 GPaと仮定
- ・ ☆印は震央、青丸は本震発生(3/20 18:09)から3/21 11時までに発生した震源を表す(気象庁一元化震源を使用)